

参考資料－2

第54回 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

2023年5月22日

第53回 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会資料より抜粋

2023年度モニタリング計画（案）

1. 2023年度のモニタリング計画（案）について

- 協議会や外部協力者・市民による2023年度の調査計画を立案したため、協議をお願いします。
- 地区全体の調査のうち、魚類、底生動物調査については、過去の捕獲調査による確認種と環境DNAによる確認種の照合を行い、有効性を検討します。
- UAV撮影、定点写真撮影、植物については、これまでと同様に調査を実施します。

区分	項目	調査実施者	調査箇所	調査時期	備考	
地区全体の調査	魚類	事務局、協議会 や外部協力者・ 市民	上池、中池、下池	春季、夏季	2023年度は調査は実施しない。 捕獲調査には捕獲許可が必要であり、 市民や外部協力者が実施するのは困 難である。そこで、環境DNAなど簡便な 調査で実施が可能か検討	
	底生動物			春季、夏季		
	UAV撮影	事務局	自然再生地全域	春季、秋季		
	定点写真撮影	事務局	上池、中池、下池	春季、夏季、 秋季		調査地点は、維持管理作業を実施して いる箇所や外来植物など着目すべき地 点に絞り込みを行う
区分	項目	目標種	調査実施者	調査箇所	調査時期	備考
整備地の調査	定点写真撮影	—	事務局	上池、中池、下池	春季、 夏季、 秋季	調査地点は絞り 込みを行う
	植物	イチヨウウキゴケ、タ コノアシ、ナガボノワ レモコウ、ノウルシ、 ヒシ、ホザキノフサモ、 エキサイゼリ、サクラ ソウ、ミゾコウジュ、フ ジバカマ、ミクリ	事務局、協 議会や外部 協力者・市 民	上池旧流路整備地、 上池旧流路保全地区、 上池モトクロス場跡地整 備地A、 上池モトクロス場跡地整 備地D、 下池整備地	早春季、 春季、 夏季、 秋季	外来植物を含む

1. 2023年度のモニタリング計画（案）について

- ミドリシジミのようにイベント実績がある調査項目は、引き続きイベントで調査を行い、モニタリングとして有効かを検証します。
- その他の昆虫類については、2023年度は調査は実施しませんが、調査協力が得られそうな団体に、調査協力が可能かなど、実現に向けた具体的な検討を行います。
- 甲殻類・貝類については、2023年度は調査は実施しませんが、簡易的な調査の有効性について、環境DNAの分析能から検証を行います。

区分	項目	目標種	調査実施者	調査箇所	調査時期	備考
整備地の調査	昆虫類	ミドリシジミ、オナガミズアオ	協議会や外部協力者・市民	下池ハンノキ育成試験地、下池ハンノキ移植地	春季	イベント実施で把握できるか試行
		ネアカヨシヤンマ、オオキトンボ、クマコオロギ、ハネナシアメンボ、エサキアメンボ	協議会や外部協力者・市民	上池旧流路整備地、上池旧流路保全地区、上池モトクロス場跡地整備地A、上池モトクロス場跡地整備地D、下池整備地	春季、夏季、秋季	2023年度は調査は実施しない。協議会メンバー指導のもと、チームアライグマなど外部の協力者に調査が可能か打診
	甲殻類・貝類	ヌカエビ、ヒメモノアラガイ、ドブガイ	事務局、協議会や外部協力者・市民	上池、中池、下池	春季、夏季	2023年度は調査は実施しない。簡易的に調査が実施可能か検証

1. 2023年度のモニタリング計画（案）について

- 両生類については、2023年度は調査は実施しませんが、調査協力が得られそうな団体に、調査協力が可能かなど、実現に向けた具体的な検討を行います。
- 鳥類については、2023年度は調査は実施しませんが、調査協力が得られそうな団体に、調査協力が可能かなど、実現に向けた具体的な検討を行います。

区分	項目	目標種	調査実施者	調査箇所	調査時期	備考
整備地の調査	両生類	ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエル	協議会や外部協力者・市民	上池、中池、下池	春季	2023年度は調査は実施しない。協議会メンバー指導のもと、チームアライグマなど外部の協力者に調査が可能か打診
	鳥類	ヒクイナ、ヨシゴイ、タマシギ、ツミ、サシバ、コヨシキリ、コミミズク	協議会や外部協力者・市民	上池旧流路整備地、上池旧流路保全地区、上池モトクロス場跡地整備地A、上池モトクロス場跡地整備地D、下池整備地	初夏、冬季	2023年度は調査は実施しない。協議会メンバー指導のもと、チームアライグマなど外部の協力者に調査が可能か打診

1. 2023年度のモニタリング計画（案）について

- ハンノキ林やサクラソウ移植地、チガヤ、オギに関しては、2023年度は、調査の具体化のための検討及びイベント実施にあわせて試行を行います。
- 外来魚については、魚類調査と同様、過去の捕獲調査による確認種と環境DNAによる確認種の照合を行い、有効性を検討します。
- 外来植物については、事務局で実施する調査はこれまでと同様に調査を実施します。また、外来植物に関するイベント実施時には、維持管理効果の検証が可能な調査を試行します。

区分	項目	調査実施者	調査箇所	調査時期	備考
維持管理に関わる調査	ハンノキ林	協議会や外部協力者・市民	下池整備地	イベント実施時	イベント実施で把握できるか試行
	サクラソウ移植地	協議会や外部協力者・市民	中池移植地	イベント実施時	イベント実施で把握できるか試行
	外来魚	事務局、協議会や外部協力者・市民	上池、中池、下池	春季、夏季	捕獲調査には捕獲許可が必要であり、市民や外部協力者が実施するのは困難である。そこで、環境DNAなど簡便な調査で実施が可能か検討
	外来植物	事務局、協議会や外部協力者・市民	上池旧流路整備地、上池旧流路保全地区、上池モトクロス場跡地整備地A、上池モトクロス場跡地整備地D、下池整備地	早春季、春季、夏季、秋季	
	チガヤ、オギ	協議会や外部協力者・市民	中池保全地	イベント実施時	イベント実施で把握できるか試行